

大分工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	哲学概説	
科目基礎情報							
科目番号	4427		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	情報工学科		対象学年		5		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	プリント配付						
担当教員	堀 栄造						
到達目標							
(1) 西洋現代哲学を概観することによって、哲学的思考の仕方を理解する。 (2) 我々にとって異文化といえる西洋的思考および西洋的文化に接し、地球的視点から多面的に物事を考える力を身に付ける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		哲学的思考を十分に理解できる。		哲学的思考をある程度理解できる。		哲学的思考を理解できない。	
評価項目2		西洋的思考・文化を十分に理解できる。		西洋的思考・文化をある程度理解できる。		西洋的思考・文化を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		西洋現代哲学を概説する。プラグマティズムや新実在論や分析哲学といった英米哲学、生の哲学や現象学や実存哲学といった独仏哲学について概観する。					
授業の進め方・方法		プラグマティズム,新実在論,分析哲学,弁証法的唯物論,生の哲学,現象学,実存哲学,精神分析学派,等について学習する。					
注意点		ノートをしっかり取ること。					
評価							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	プラグマティズム(パース)			パースの哲学について理解できる。	
		2週	プラグマティズム(ジェイムズ)			ジェイムズの哲学について理解できる。	
		3週	プラグマティズム(デューイ)			デューイの哲学について理解できる。	
		4週	新実在論(ムア・ラッセル)			ムア・ラッセルの哲学について理解できる。	
		5週	分析哲学(マッハ・ヴィットゲンシュタイン)			マッハ・ヴィットゲンシュタインの哲学について理解できる。	
		6週	弁証法的唯物論(フォイエルバッハ)			フォイエルバッハの哲学について理解できる。	
		7週	弁証法的唯物論(マルクス)			マルクスの哲学について理解できる。	
		8週	生の哲学(ショーペンハウアー)			ショーペンハウアーの哲学について理解できる。	
	2ndQ	9週	前期中間試験				
		10週	前期中間試験の解答と解説 生の哲学(ニーチェ)			ニーチェの哲学について理解できる。	
		11週	生の哲学(ニーチェ)			ニーチェの哲学について理解できる。	
		12週	生の哲学(ベルクソン)			ベルクソンの哲学について理解できる。	
		13週	生の哲学(ディルタイ)			ディルタイの哲学について理解できる。	
		14週	現象学(ボルツァーノ・ブレンターノ)			ボルツァーノ・ブレンターノの哲学について理解できる。	
		15週	前期期末試験				
		16週	前期期末試験の解答と解説				
後期	3rdQ	1週	現象学(フッサール)			フッサールの哲学について理解できる。	
		2週	現象学(フッサール)			フッサールの哲学について理解できる。	
		3週	現象学(フッサール)			フッサールの哲学について理解できる。	
		4週	現象学(シェーラー)			シェーラーの哲学について理解できる。	
		5週	現象学(メルロー・ポンティ)			メルロー・ポンティの哲学について理解できる。	
		6週	実存哲学(キルケゴール)			キルケゴールの哲学について理解できる。	
		7週	実存哲学(ヤスパース)			ヤスパースの哲学について理解できる。	
		8週	後期中間試験				
	4thQ	9週	後期中間試験の解答と解説 実存哲学(ハイデガー)			ハイデガーの哲学について理解できる。	
		10週	実存哲学(ハイデガー)			ハイデガーの哲学について理解できる。	
		11週	実存哲学(サルトル)			サルトルの哲学について理解できる。	
		12週	実存哲学(サルトル)			サルトルの哲学について理解できる。	
		13週	精神分析学派(フロイト)			フロイトの精神分析学について理解できる。	
		14週	精神分析学派(フロイト以後)			フロイト以後の精神分析学について理解できる。	
		15週	後期期末試験				
		16週	後期期末試験の解答と解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0